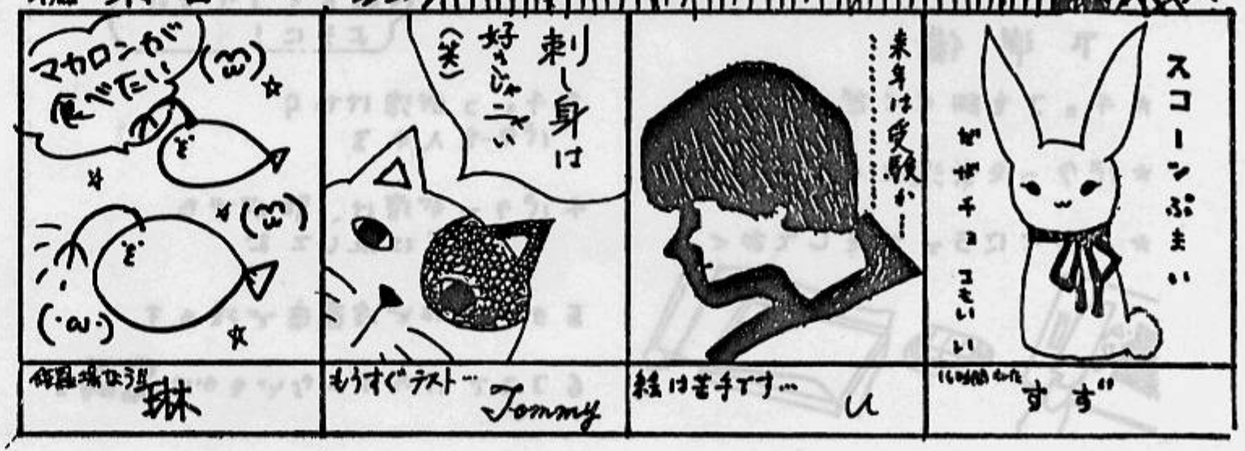
稲城市立中央図書館
ポルターダ

No.18

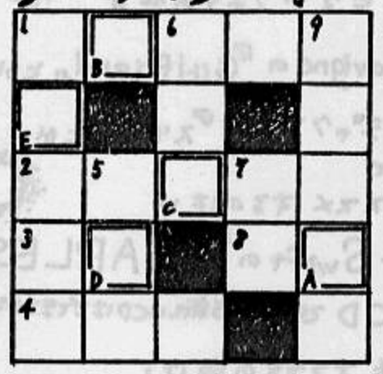
寒い日が続いておりますが
皆様 いかがお過ごしでしょうか。
春はもう すぐそこです。
桜の花が咲くのが楽しみですね(^-^)!!

琳

編集者



クロスワード



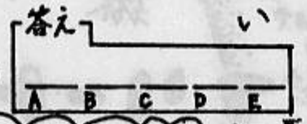
《ヨコのカギ》

1. 漢字で書くと「杜若」
2. 重大な出来事。「国家の一だ」
3. ドンキーコングが投げてきます。
4. 酒に酔った足取りのことを「—足」と言います。
8. 病気の時によく食べます。

《タテのカギ》

1 皮膚に突然、鎌で切ったような鋭い傷痕が出来ること。
5 魚などを郵送する時は、「—冷蔵」で贈ると良いです。
6 ごはんです」は海苔の—煮です。
7 1杯、2杯…と数えます。
9 食後には増えるものです。

答え



後記

もう二月ですね。来年の今頃は受験です。(笑) by 琳

22日からアメリカ行ってきます！青いケーキ見れるかなミ by すず

もう高2も終了ー。そろそろ勉強しなくちゃね… by Tommy

すずちゃんうらやましいです。私も行きたいです。お土産の願いします。 by 琳

おみやを私さいぺ by すず

としょかんスタッフより

今年初の「ポルターダ」発行になりました。皆様ありがとうございます！

まだまだ寒い朝と冷たい風が吹きますね。

布団から出られなくなる朝と、お鍋が食べたくなる日々(?)

ももうすこしでしょうか？

暑くなったらお弁当を持ってお花見に行きたいです。

図書館の近くにも、きれいに花を咲かせる桜の木があります。

YA広報誌『ポルターダ』NO.17
稲城市立中央図書館
2010年2月発行

編集：YAボランティアの皆さん
（琳さん、Jommyさん
uさん、すずさん）

Tel：042-378-7111
Email：inagilib@library.inagi.tokyo.jp

連載小説『後手の妙』

……を、掲載させて頂く予定だったのですが、

「区も刃りが上手くつかない」

「分量の関係で連載できそうもない」

と、図書館の方に泣きついたところ、

なんと…

別冊発行決定!!

ということになりました。

ポルターグと並んで、3月中には
図書館に置かせて頂く予定です。
ですので、このポルターグを手に取って下さった方は、
よろしければ別冊の方にも目を通してみて下さい。
二度も延期してしまってスミマセン……。

楽曲紹介!

←だけではなんなので

最近、僕は『WEAVER』というアーティストにハマっています。
『WEAVER』というのは、ピアノボーカルという珍しい形態が特徴の、3人組のアーティストです。
曲調もポップで耳に馴染みやすく、万人が好きになれるアーティストだと思います。
ぜひ聴いてみて下さい!!

文責：U

簡単!! 生チョコの作り方

40コ分

チョコレート…125g

オレンジジュース…37g

バター…37g

下準備

★チョコを細くくだいておく

★バターを常温にしておく

★トレイにラップをしておく

1 鍋を火にかけ、オレンジジュースを煮し沸騰する直前で止める

2 そこへ細くくだいたチョコを入れる

（湯水でこげないように！）

3 チョコが溶けたらバターを入れる

4 バターが溶け、艶がでたらトレイに流しこむ

5 30分ほど冷蔵庫で冷やす

6 ココアパウダーなどをかけ **完成!**

水樹奈々さん

現在、声優・歌手として大人気活躍中の水樹奈々さん。自叙伝『深愛』を私は最近読んだのですが、とても感動しました(T_T)

今回紹介させて頂くのは、アルバム『IMPACT EXCITER』です。

アルバムの中の『NEXT ARCADIA』や『Young Alive!』は聴いていて元気が出ます。『7月7日』という曲はとても癒されますよ!!

図書館にもありますので(CDもミ)ぜひ聴いてみて下さいね♪

その他に、アルバム『ULTIMATE DIAMOND』や『ALIVE & KICKING』などがあります!!

琳すず。のブックトーク

プリズムの夏

著者：関口尚

高三の植野は、いつも訪れている映画館に通う男子だったが、ある日ネットで見つけたうつ病女性の日記、『やめていく日記』の作者が映画館の松下さんではないかと疑い始めて…。

少年二人の、切なくほろ苦い成長物語です。ぜひ読んでみてください。

洋曲って色々ありますよね♪

Avril Lavigneの『Girlfriend』とか

マイケルジャクソンの『スリラー』とか…

そんなわけで

今回オススメするのは…

Taylor Swiftの『FEARLESS』というCDです。(もう新しいCDはでてますが…)

なかでもオススメの曲は、

『Love Story』これはDVDにPVが入っておりとてもステキです それにストーリー性があり現代のロミオとジュリエットの話しという感じですよ 洋楽洋画を聴かない方も彼聴いてみてはいかがでしょうか？

『英語脳』になる本

著者：船津洋　三笠書房

使いこなせる人はどれ位でしょう。

本書は単語の「感覚」「イメージ」を掴むことで『ネイティブの語感』を身に付けよう！というもの。

これで英語が苦手なあなたも「英語脳」に!?

私のおすすめ本